

公表 における自己評価結果

事業所名 Yくまーず未来 三河安城

公表日 2025年 11月 6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		個室や公園など活動によって場所を変えたり、活動内容を工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	視覚・聴覚などの感覚特性にあわせて環境調整している。遊びの場所をテープを使って場所を区切るなど必要に応じた構造化などを意識して利用児に合わせた配慮を行っている。	事業所が2階にあり出入りには階段の利用が必須であり、バリアフリー化は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日汚れるが、毎日掃除をしているので清潔を保てていると思う。	備品の不備の対応を早急にしたい スタッフの片付け・清掃が十分でない事がある。子どもと共に取り組んだり、事業所全体で清掃に取り組む時間を設けるなどして効率的に清潔を保ちたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		学習に集中するため刺激を減らす工夫がしたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月の会議の中で職員が意見を出すようにしている。また、業務改善につながるよう、具体的な行動まで会議の中で確認している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内での研修の強化を図っている。外部の研修への参加も進めている。	特定の職員だけでなく、職員全体がスキルアップできるような仕組みを考えていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	支援プログラムが公表されているのか把握できていない。	スタッフみんなで事業所に合わせた支援プログラムを作成、HPにて公開している。 新入の職員にも内容を理解した上で支援が行えるように事業所内の研修などで徹底したい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	提案をすることで支援計画作成に参加している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援前のミーティングにて毎回確認できるような仕組みを作成中。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		必要に応じて、評価指標などを用いている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		いろんな職員の意見をもとに立案している。	新しい職員でもプログラムの立案に参加できるよう、職場内で研修をしたり、職員間で教え合って協力していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		子どもの発達・生活年齢や興味関心、課題、季節などいろいろな視点でプログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		必要に応じて個別支援を行うほか、集団の大きさを工夫して支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝、打ち合わせを行い、より良い支援になるように意見を出し合っている。	支援が活動に合わせたものでなくそれぞれの支援計画に合わせたものになるよう、支援計画を確認しながら行える仕組みを作成中。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		翌日に振り返りを行ない、職員間で情報の共有を行なっている。	他の業務の効率化を図り、子どもの支援の話をする時間を十分に確保したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		丁寧に記録を残し、また、支援の振り返りを行うことで、より良い支援を検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		子どもたちが選択できるように尋ね方を工夫して関わっている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			会議などで得た情報を他スタッフとも共有し、みんなが把握して支援に活かせるようにしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			行事や予定だけでなく、子どもの様子を共有することを心がけたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6	該当する児童がいない。	移行ではないものの、事業所の利用を終了する児童に対しては、モニタリングの際に児の姿、今後期待されることをまとめて保護者にお伝えしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	児童館に行くことはあるが、子どもとの交流はほほえない。 偶然、近くの公園で遊んでいる子どもと遊ぶ機会ができたりする。	交流をする機会を意図的に設けることは難しいが、偶発的に生じる機会があれば、他の子ども達と関わりたい利用時がいれば必要なフォローをして見守りたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		現状では業務に追われ参加できていない。 受信する情報には目を通して、ゆくゆくは参加できるようにしたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		モニタリングの機会に丁寧に情報を共有するようにしている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		今年度は保護者向けの会を開催した。継続して開催し情報提供の場としたい。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談があった時には丁寧に話を聞き、助言を行う他、事業所でできる支援を行なっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7		今年度、保護者会を開催した他、家族参加の行事を通して保護者同士の交流を図ることが出来た。	きょうだい同士の交流の機会は今のところ持っていない。希望や必要性があれば、効果的な実施が可能かを含め検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	不定期ではあるものの、通信を発行し、情報提供を行っている。	SNSの活用については慎重に検討したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			実施した内容の周知をしていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	該当する児童がいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		報告書を作成し、再発防止のための対応を検討している。	報告書の作成の手間などのため、全てのヒヤリハットが報告されていない現状がある。より容易に報告できる仕組みの検討が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			